



下野山
中野山

柳園燿華

~ 13
3755
13





絶

白

廿四編上

五
福
○
〰

白縫物語第廿四篇
上集種員作國貞画

柳下亭壽梓

女女戊午歲

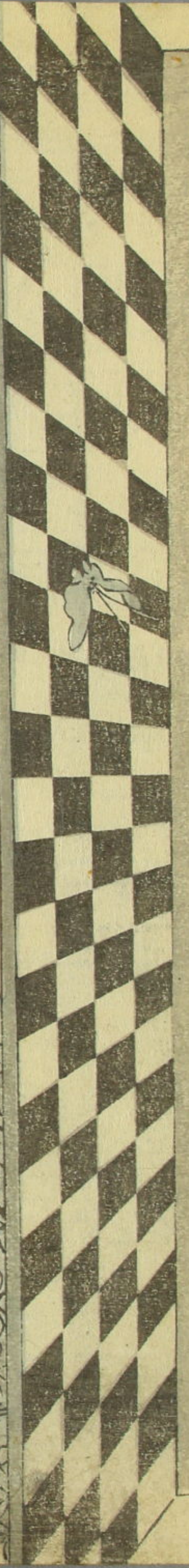
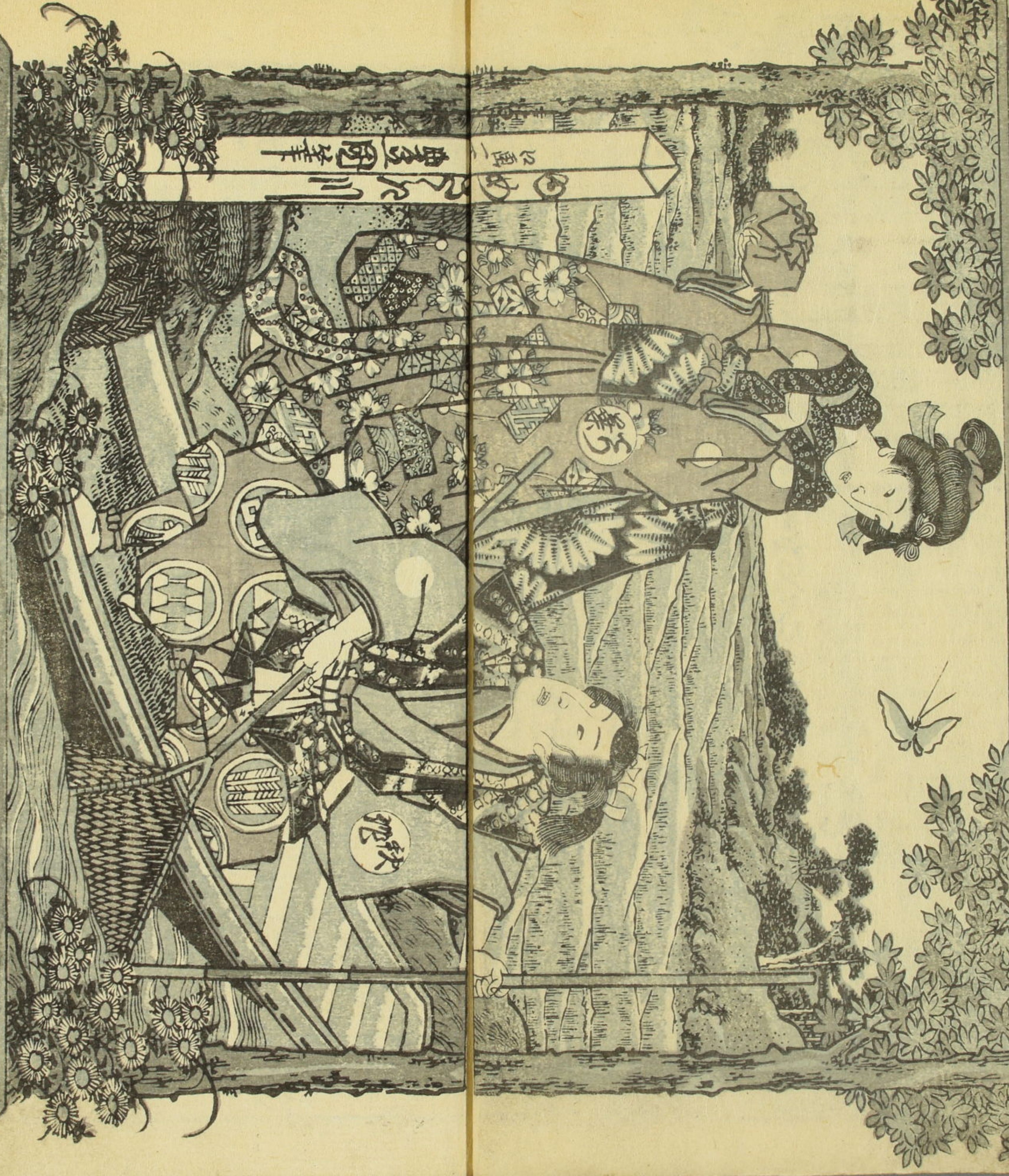
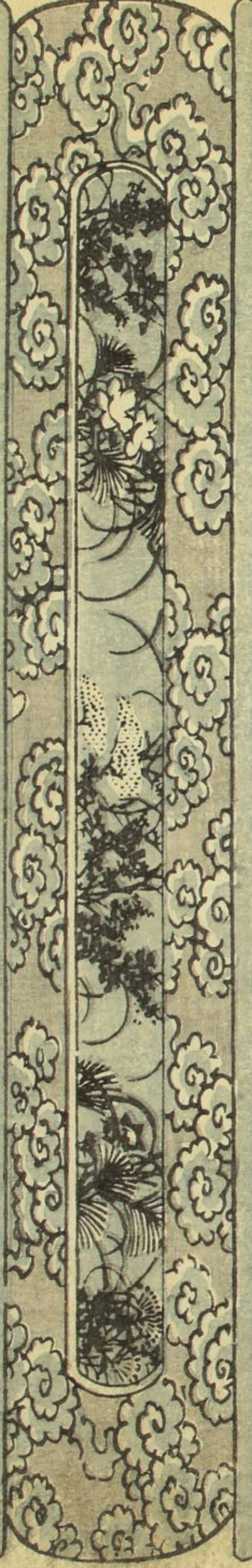
諸凡稗史不用國ハ五畿内ノ山城大和攝津ともれ三ヶ國東海道ガ
伊勢國ハ遙隔て相模武藏東山道ガ近江をり山陽道ハ播磨ふかきり
其他ハ假令あれがて邂逅のこたらん唐山の小説も亦然ゆゑ思惟ハ先哲も
名の通ぬ國ハあり東ハ普通人の知國へうじて作りの依此不知火ハ野乘ふわろ
はらぬ西海道ノ地名ガ一向ふ多分まゝいそれとみ衆背とてうけ山陰道へこれら
踏込伯耆但馬出雲隱岐華ふまをて北陸道能登や若狹の方へも至らん
先當卷ハわぬ東ノ山鳥ノ尾と詠トむひ一人齋朝臣ノ旧蹟うろ岩見國
高角ノ辺ハ説くものよりとやかく〜かいつぐられハ手習童達ノ手本ハ讀唱
國ハこのものめは清書とらて發見草紙も一段見事ノ痕ハあく拙著
賤不評の〜わろ〜

柳下亭種員記



四月廿五日

11

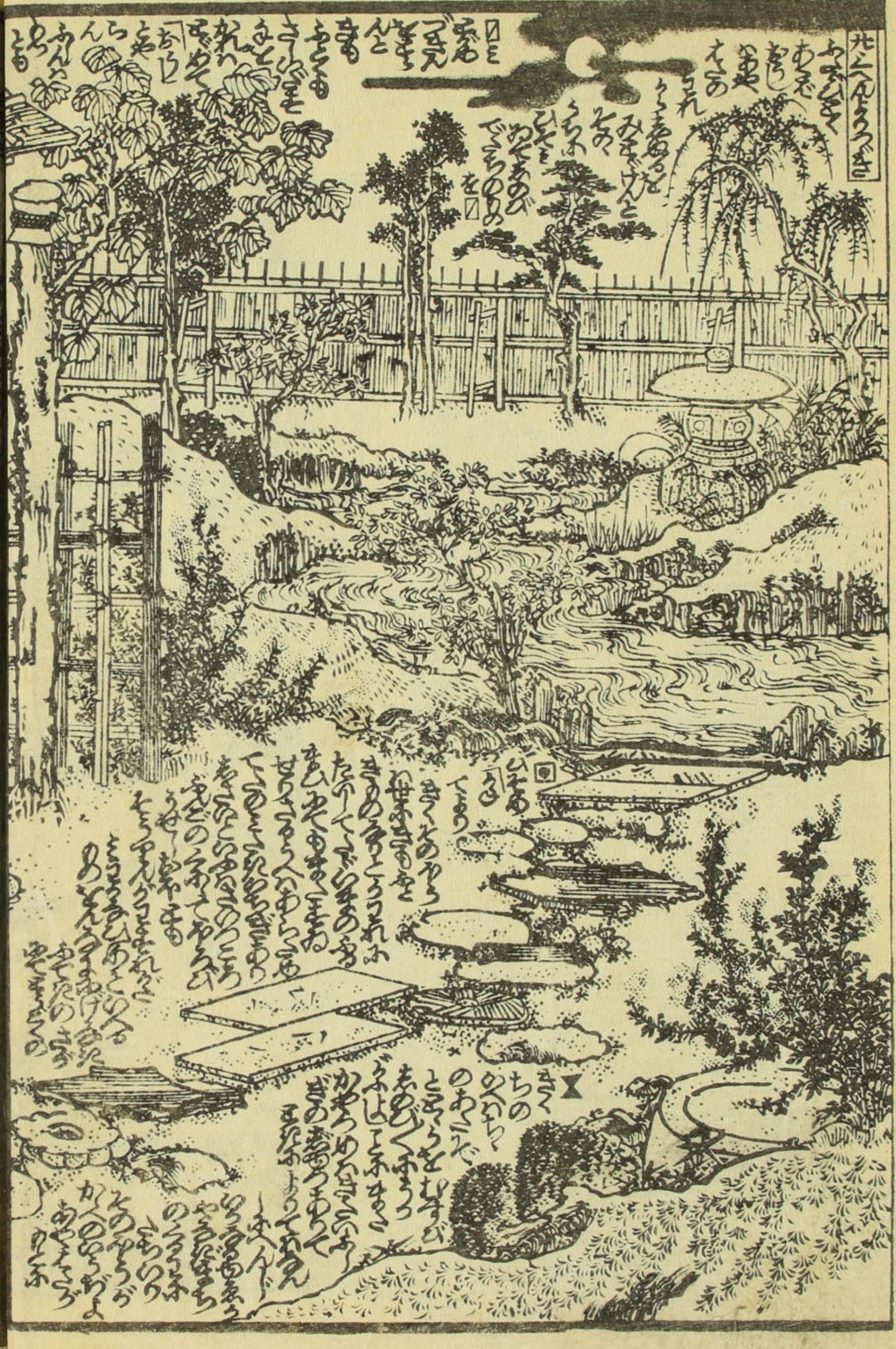


四月廿五日

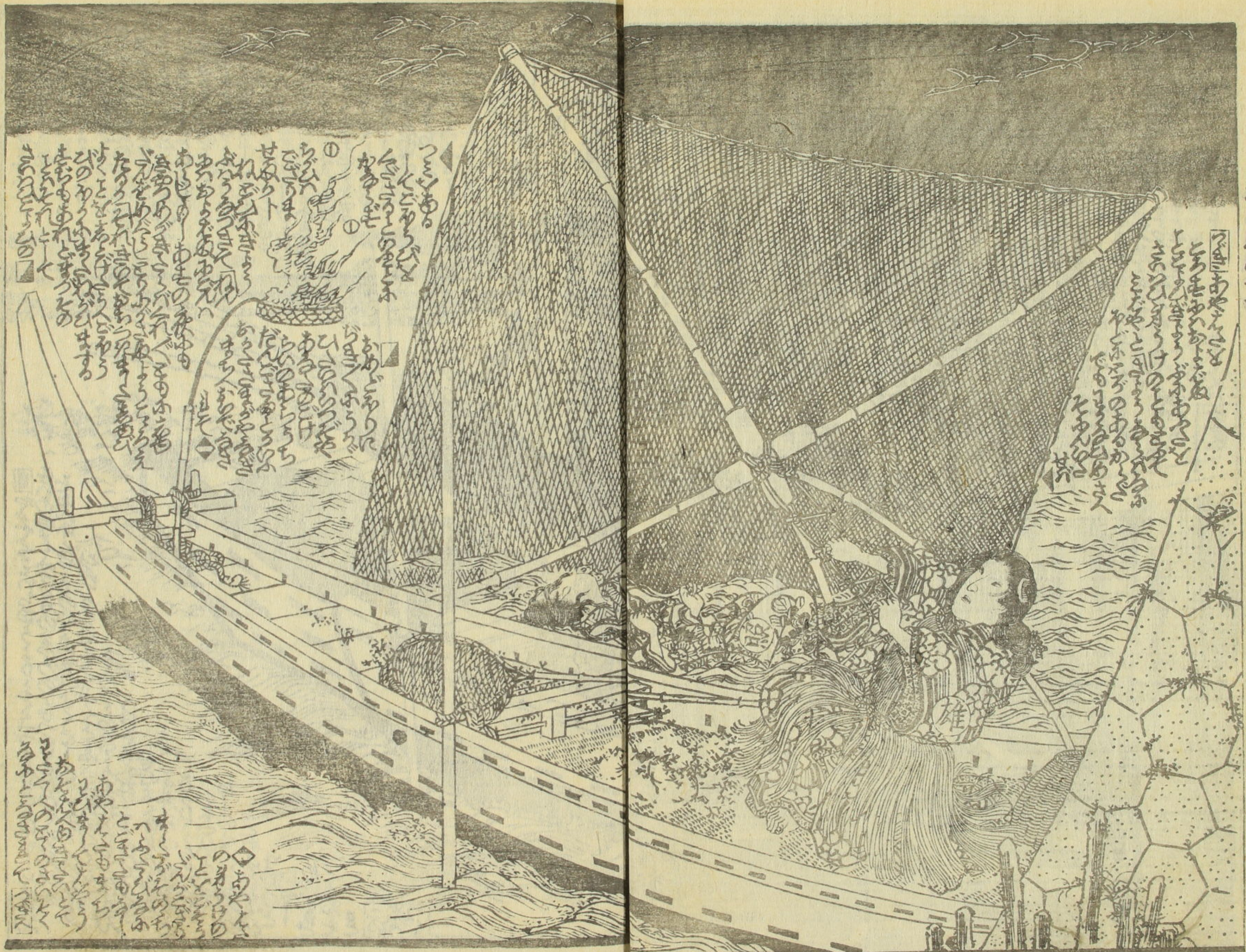
11



あつたて



あつたて



10000714

① 魚の網
② 舟の網
③ 舟の網
④ 舟の網
⑤ 舟の網
⑥ 舟の網
⑦ 舟の網
⑧ 舟の網
⑨ 舟の網
⑩ 舟の網

舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網

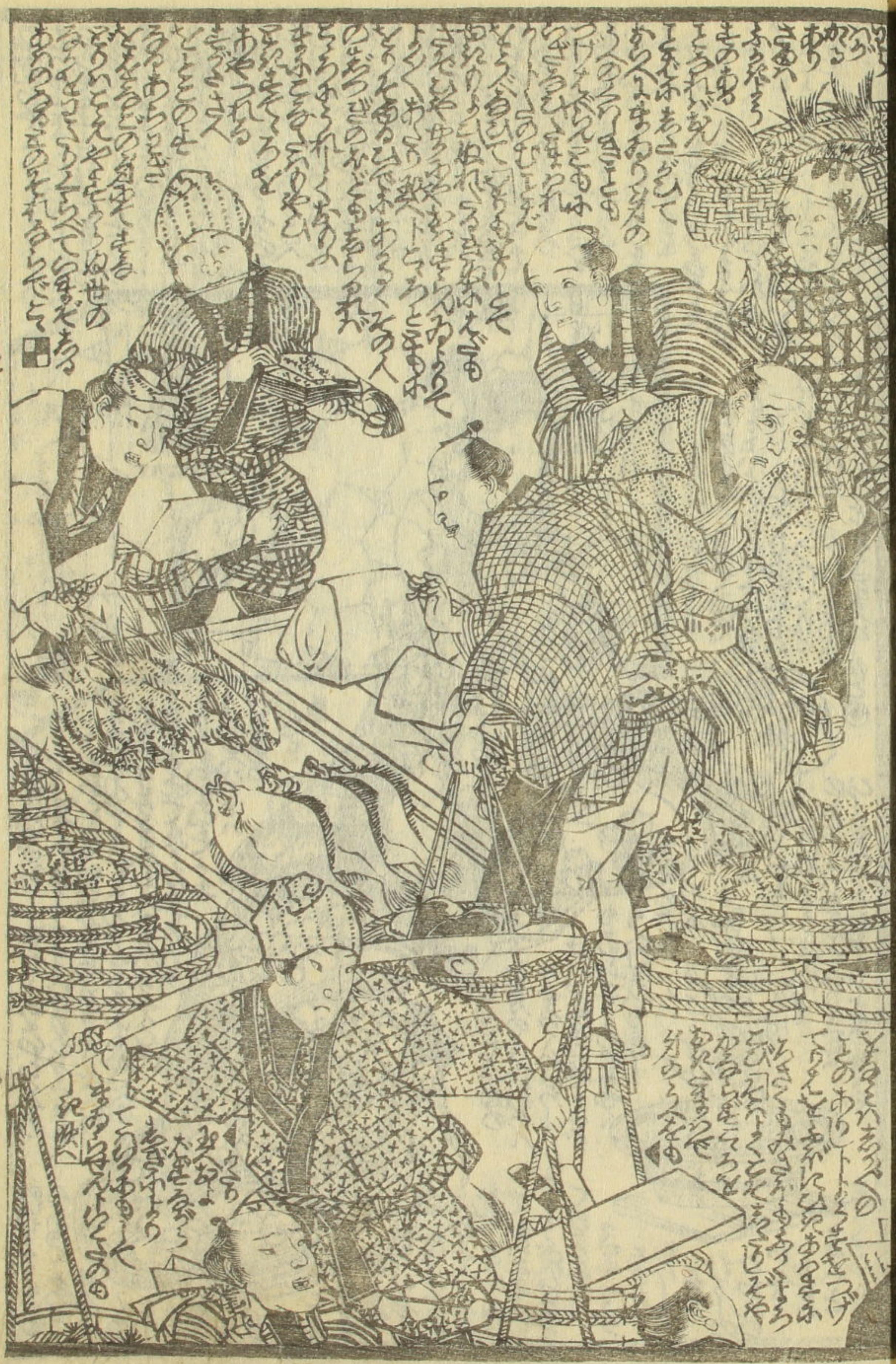
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網

10000714

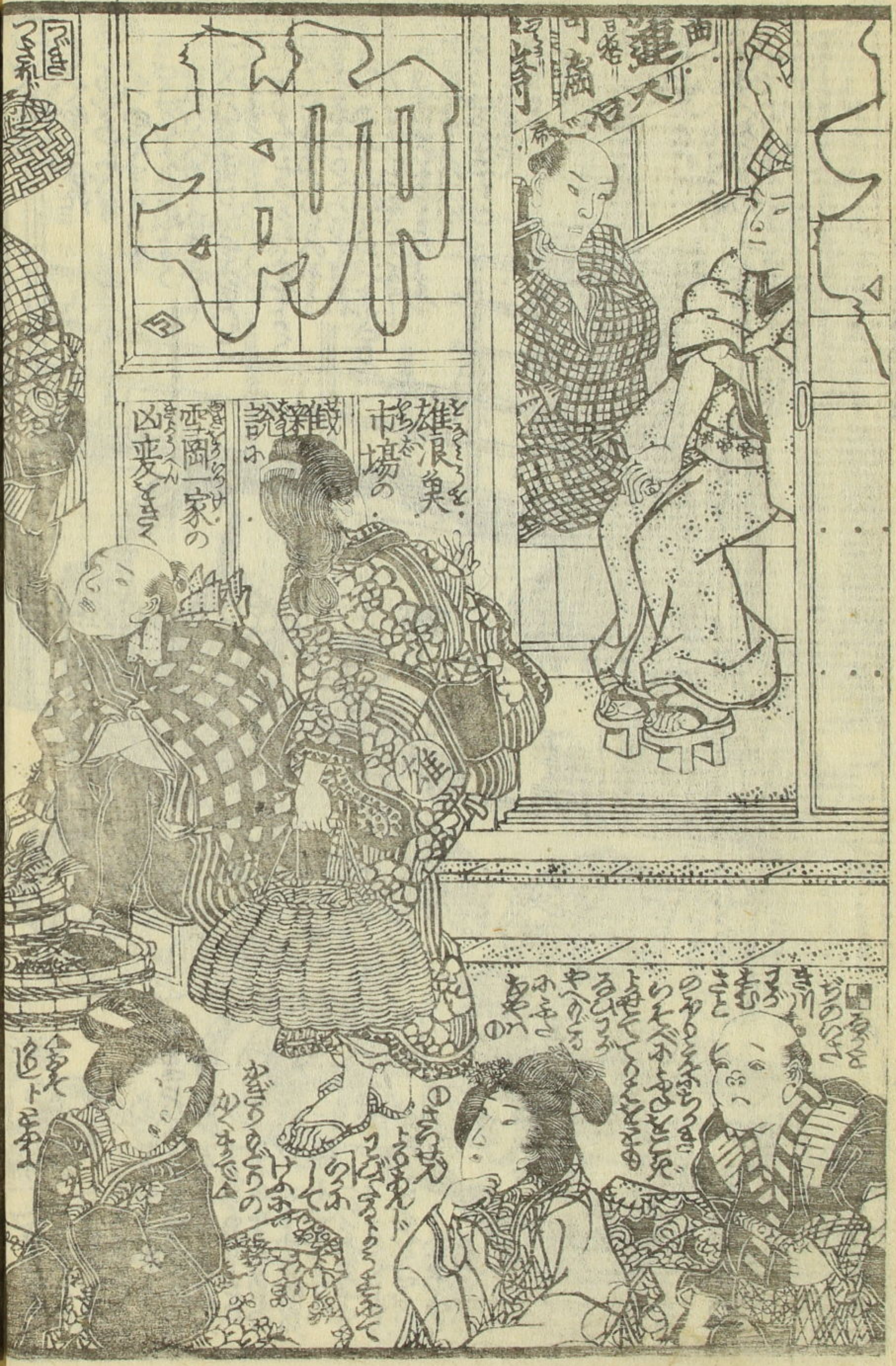
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網
舟の網

10000714



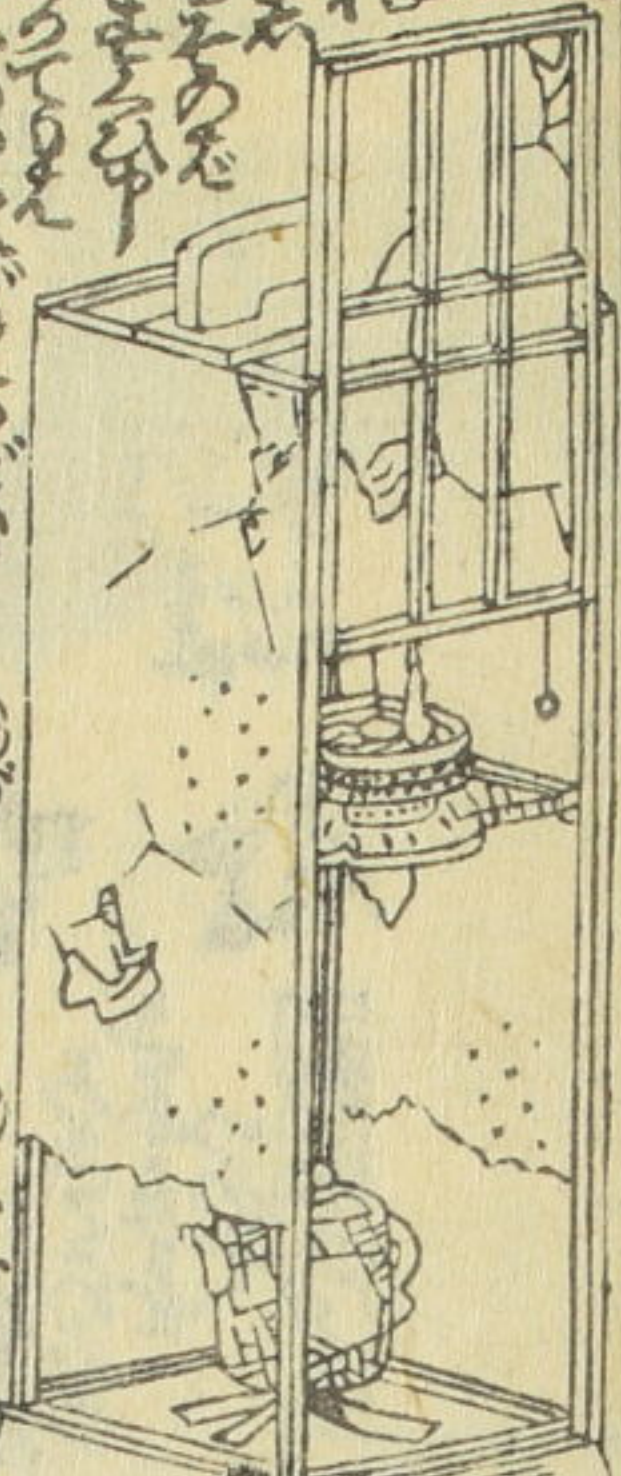


とらつち入十四



雄浪の世

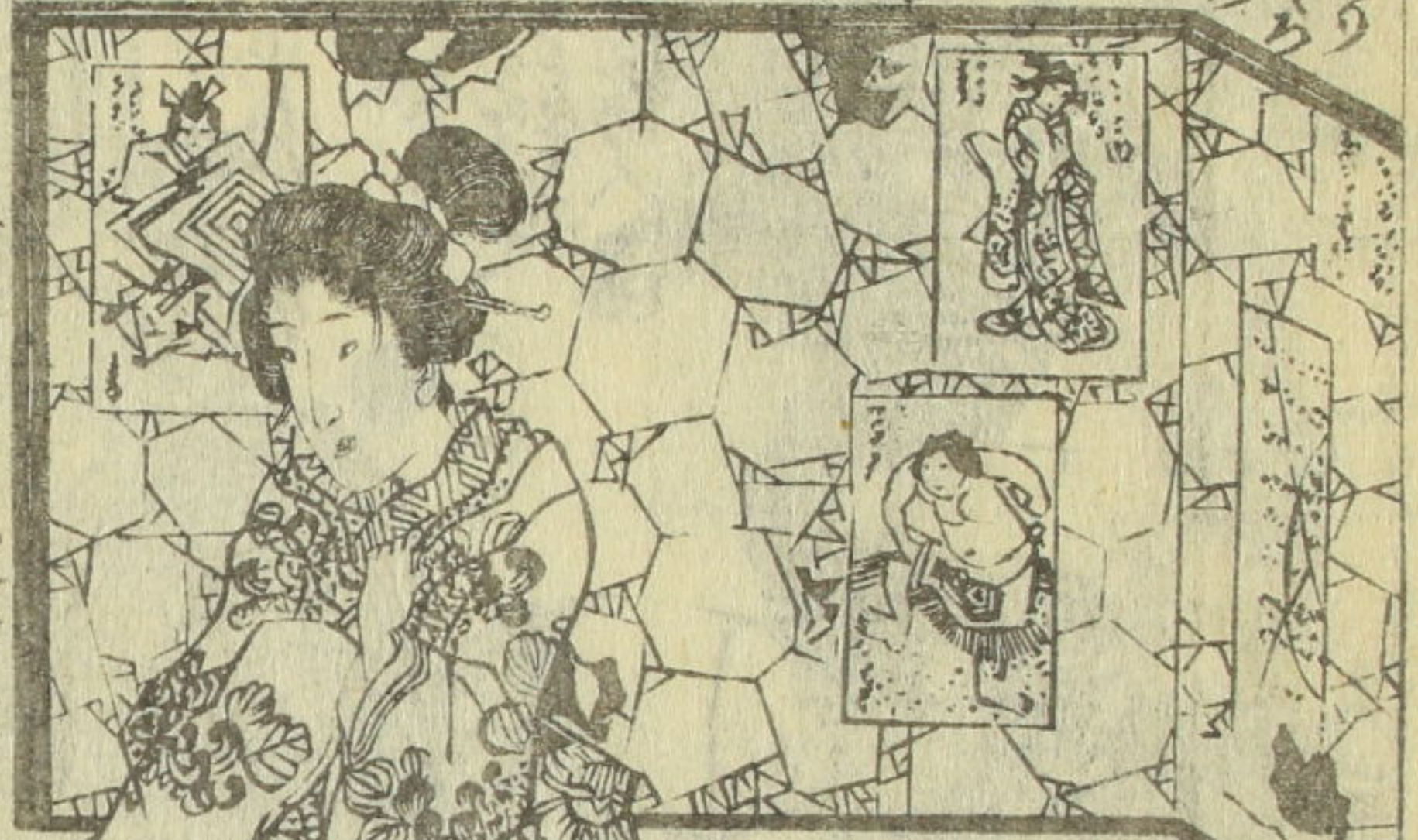
Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, covering the left page. The text is arranged in vertical columns, with some characters appearing to be stylized or abbreviated. It occupies the upper and middle portions of the page, surrounding the central illustration.



Additional handwritten text at the bottom of the left page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration above.

Vertical text on the far left edge of the left page, possibly a page number or a reference mark.

Handwritten text in a cursive script, likely a Japanese dialect or a specific form of shorthand, covering the right page. The text is arranged in vertical columns, with some characters appearing to be stylized or abbreviated. It occupies the upper and middle portions of the page, surrounding the central illustration.



Additional handwritten text at the bottom of the right page, continuing the narrative or providing commentary on the illustration above.

Vertical text on the far right edge of the right page, possibly a page number or a reference mark.

安政四年丁巳歲新鐫目錄

兒雷也豪傑譚

此編 柳下草種員作
此二編 童齋國盛畫
此三編

甘泉堂梓

假名一休草紙

此編 同
此二編 同
此三編 同

全梓

童謠妙々車

四編 同
五編 同
六編 同

紅英堂板

縁結浮世雛形

初編 同
二編 同

錦魁堂梓

淺緑短刀
深緑茶入
笹野権二標花鎗

初編 同
二編 同
三編 同

錦森堂板

玉壺生肌膏

調合玉樓金瘡
新吉原
淺草今戸町
賣弘柳下亭即愈

奇功紙 價廿四孔 上同

繪草紙東錦画開板所 淺草今戸町 柳下亭

種員作國貞画



種員作國貞画

諺

種
負
化
國
真
画



廿四編下

外題曲五同虫

折
下
文
庫





三の巻

下冊

種彦化
 國貞
 畫
 第廿四海
 下冊
 大
 吉
 折下
 吉





九ノ月十五日

十一



九ノ月十五日

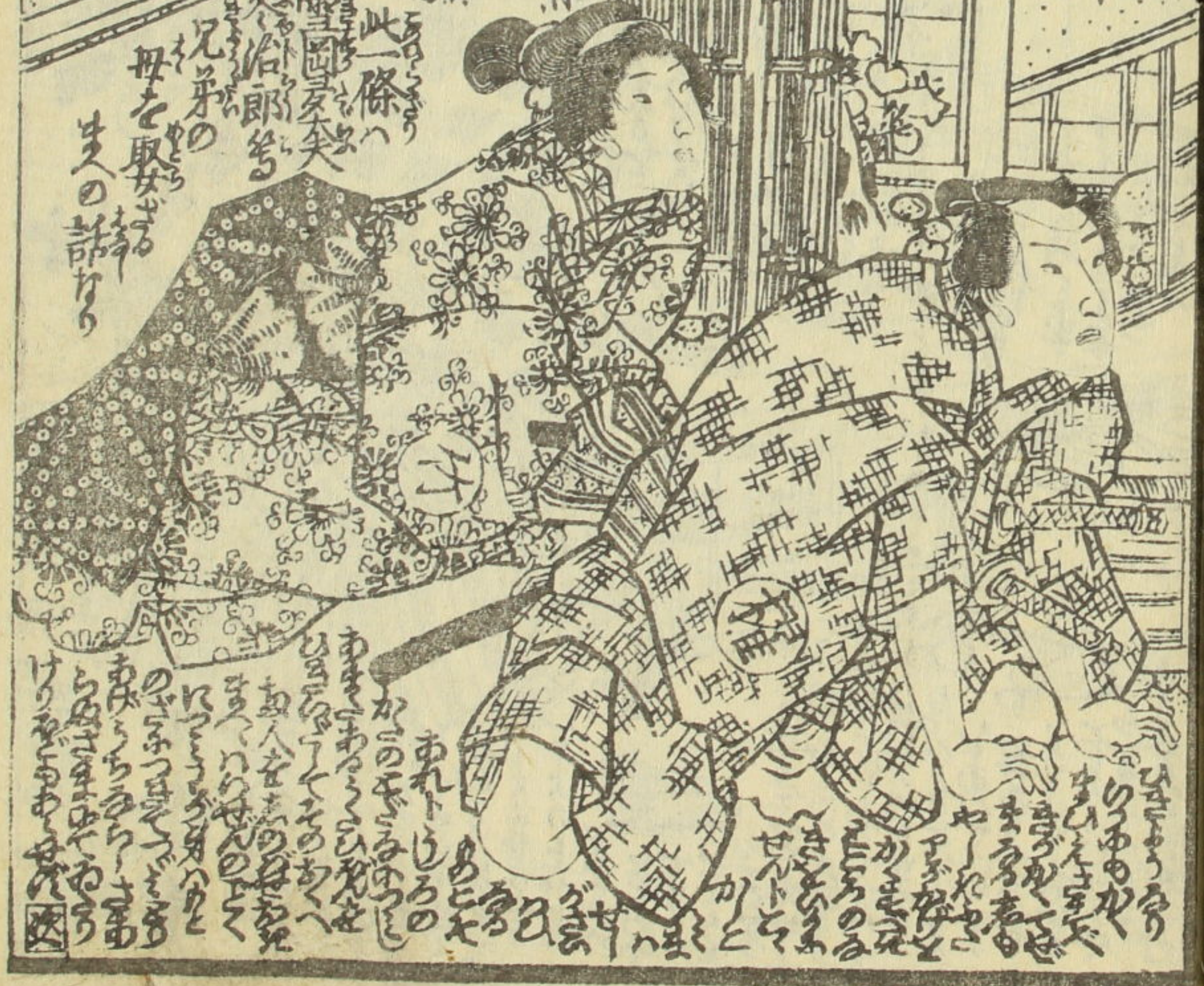
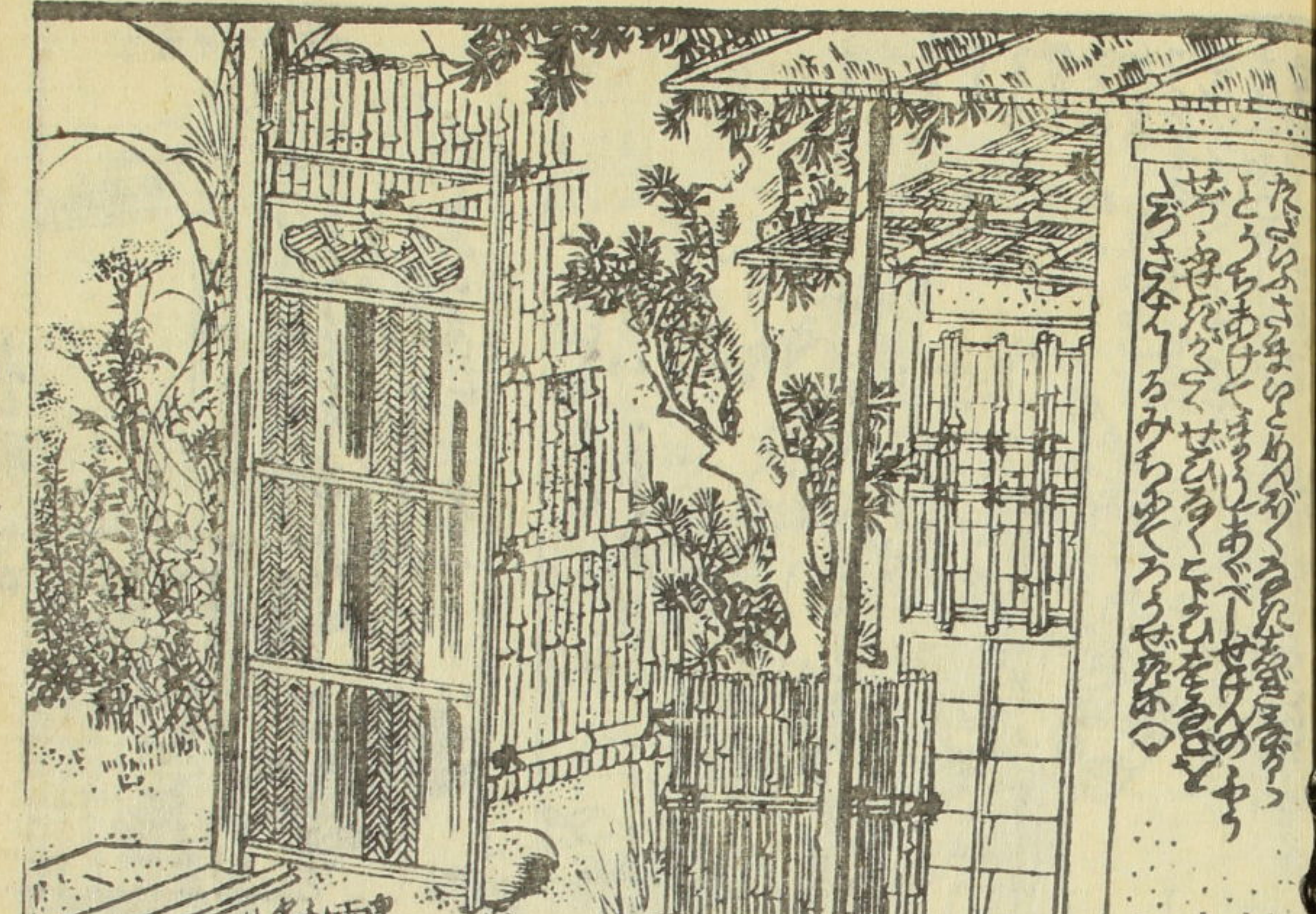
十一

ついでにわたりしあつちのうらみひらけ
まのうらみあつちのうらみまを
かすのぞくおほりあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ



かすのぞくあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ

あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ



あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ

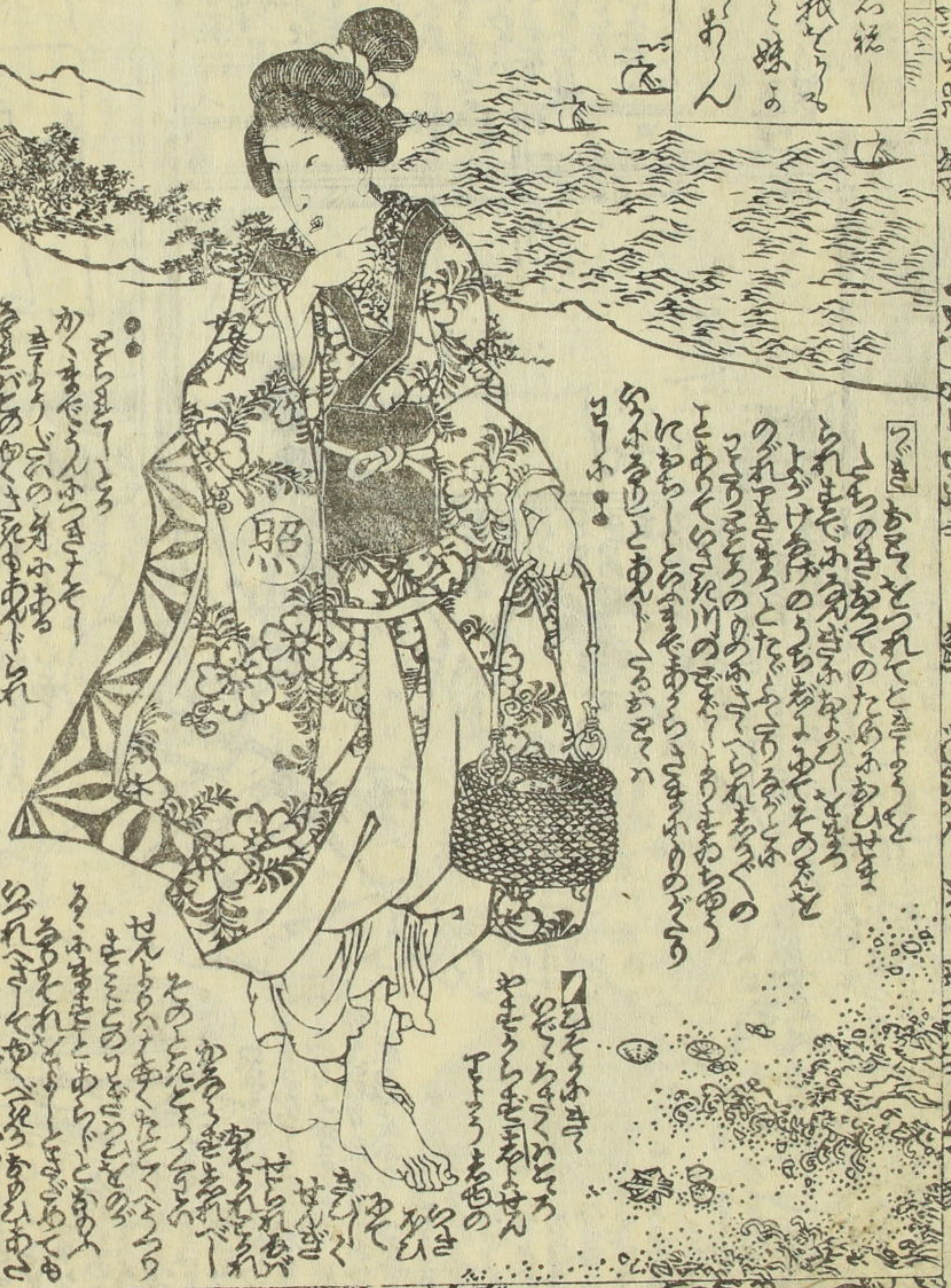
此一條ハ
雪國屋
大治郎
兄弟の
母を
取女
の
許り

あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ
あつちのうらみかすのぞくあつちの
うらみあつちのうらみ



山見の岩 國美の濃 郡角の高 鴨山の柿 社本

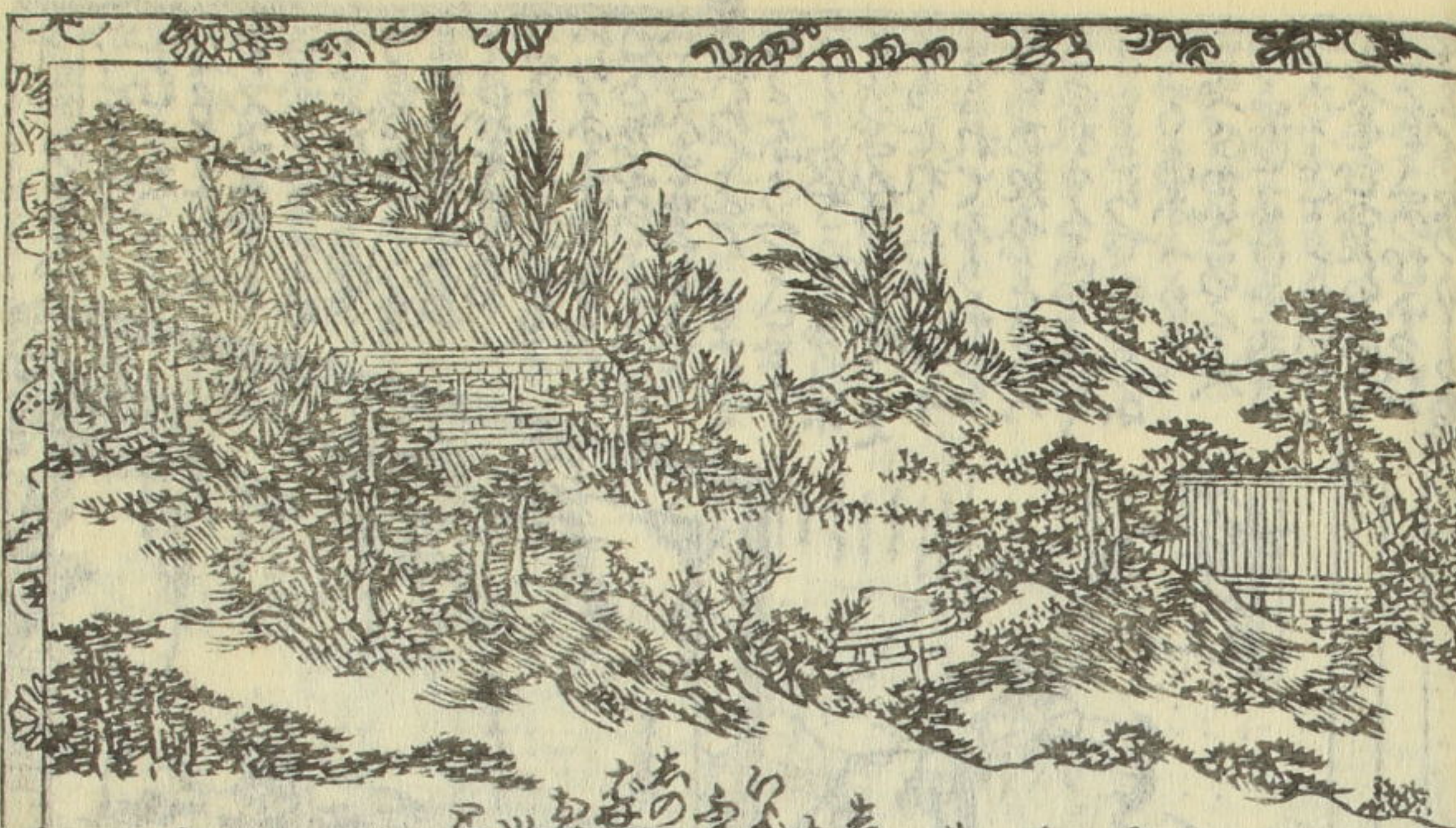
鴨山の岩見
さあさあ我々
あはれと妹
ほろほろわん



かゝる人を見れば
きこふ心はあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ

あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ

あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ



あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ

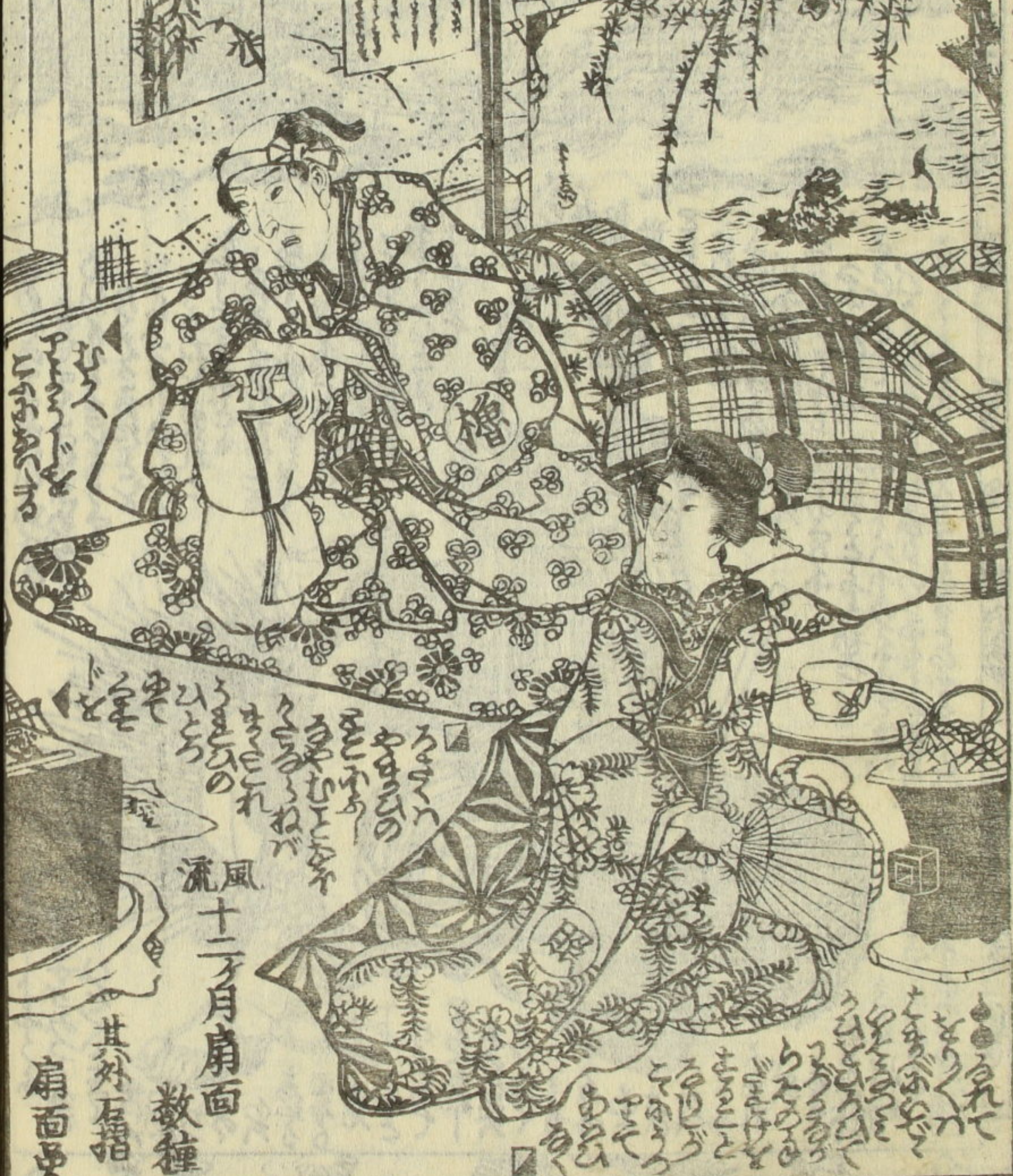
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ
あはれと妹のあはれ

此の扇は、
 江戸の
 名産
 として
 遠く
 まで
 運ば
 れる
 こと
 多し
 也。



佳製表裏
 繪半切
 封筒
 沢山仕
 下料
 上ひる
 由來
 永
 安
 堂

此の扇は、
 江戸の
 名産
 として
 遠く
 まで
 運ば
 れる
 こと
 多し
 也。



風十二月扇面
 教種
 其外扇
 扇面

高角鴨山道

高角鴨山道
柳木大明神迄是日八丁



種員作國貞画

海

三島山伊達の母と妹の仇討の八箇切を
一場の趣向の山田阿月小巻よあつね娘の及びつら
河く電光ハ必死と生みの松糸の所々お落るる雷後飛

七草四郎
若菜嬢子

不知火物語

自北二編至二十
八編已歳初春
追ふ出板仕候

黒闇が牛が津道お敷さるると帯との然の念が報あて
い場の條下お籠も物多の中お三入る
物の因縁入達の刑罪別荘の庭中お血の紅燈籠

曲工

柳下亭種員
查樂樓國貞

於梅条之跡
錦木新七
万年草新渡鉢殖

後前編
柳下亭種員作
國貞画

右系紙くさの先年より四披露りしは不來年出束初編二編二袋あて
よき切よお取の面白きまわりの世傳拍前後とも同好よりり
此の俵を希於以
安民六已末初春出版
板元 柳下亭 敬白

物

白
廻



并題四五因包

廿五編上

柳下
又座



白縫譚廿五編

上集

種員化

國貞画



柳下亭版

男風呂の鏡戸小韓信の股潜と画し入湯衆不堪忍を示あるべく髪結
 床の暖簾小道灌と賤女を画する急げと待せしきと帰る客と止
 る形しん秋左許は何更あも意を用る江湖上の名裨史杯殊更
 當時流行の大人達工風のうへに意匠を凝し市中必交る韓信か
 ら絡と又案盡々々々し新奇を競ふ其中魯鈍本領の此白縫を
 巨田グ狩の村時雨謎み出されし秋冬より猶ものあし拙き東西
 と見捨しゆらぬ難有さふ今年かこせりた編を走せ當弥生より
 三十編中を呈覽と是巻の臘月中旬旬稿を祝し世も初剝よ初
 湯よと賑ふ初春の發兌ふいなり



柳下亭種員記



安政戊午青陽

整軒玄魚備書

石見國高角鴨山柿本社神樂之舞模擬

石見國高角鴨山柿本社神樂之舞模擬

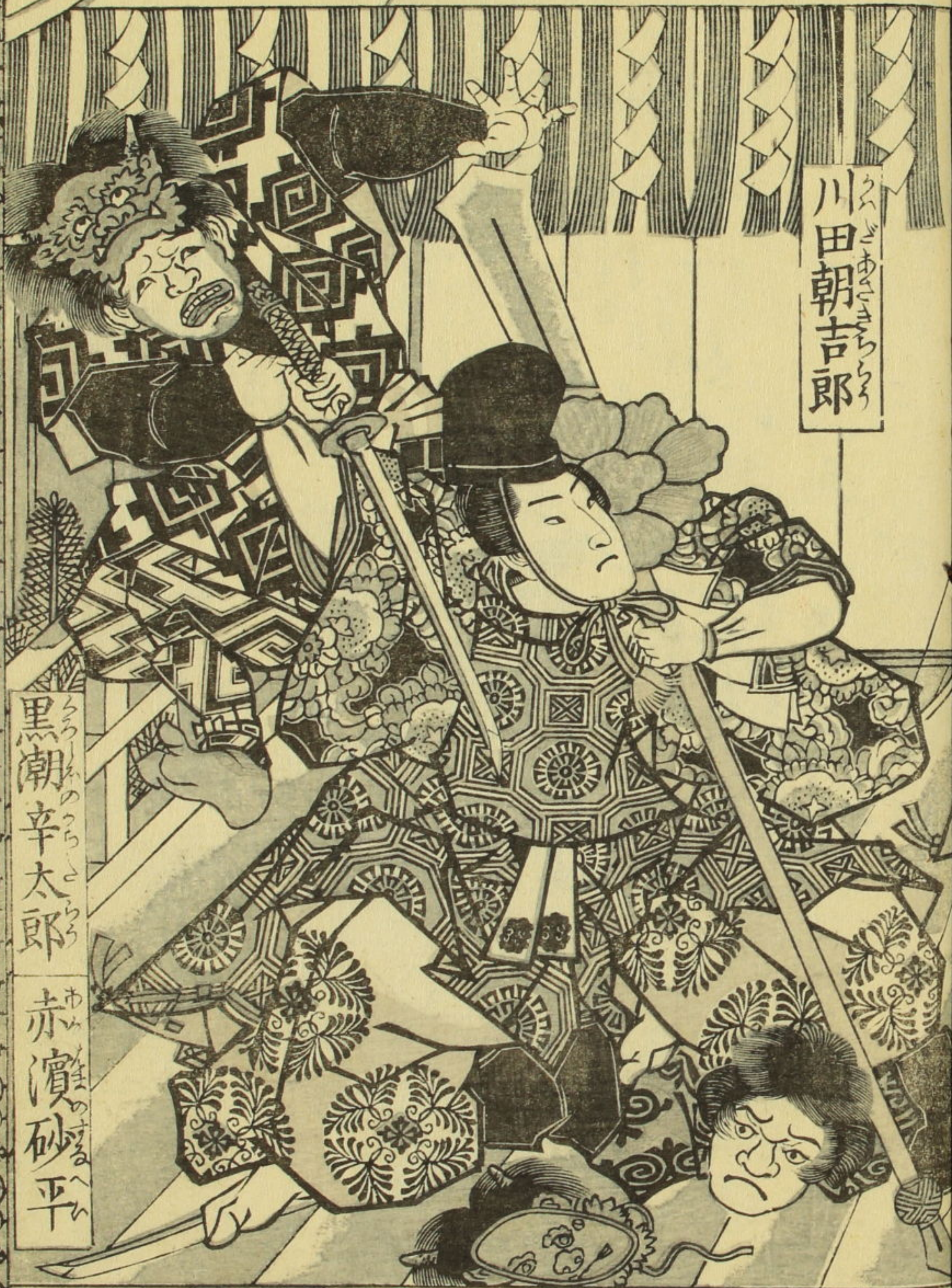
白嶋渡介

義婦雄浪

曲三因由



川田朝吉郎



黒潮辛太郎

赤濱砂平

石見國高角鴨山柿本社神樂之舞模擬



雄

Handwritten text in cursive script, likely a commentary or poem, located at the top of the left page.

Handwritten text in cursive script, likely a commentary or poem, located at the bottom of the left page.



Handwritten text in cursive script, likely a commentary or poem, located at the top of the right page.

Handwritten text in cursive script, likely a commentary or poem, located at the bottom of the right page.

牙

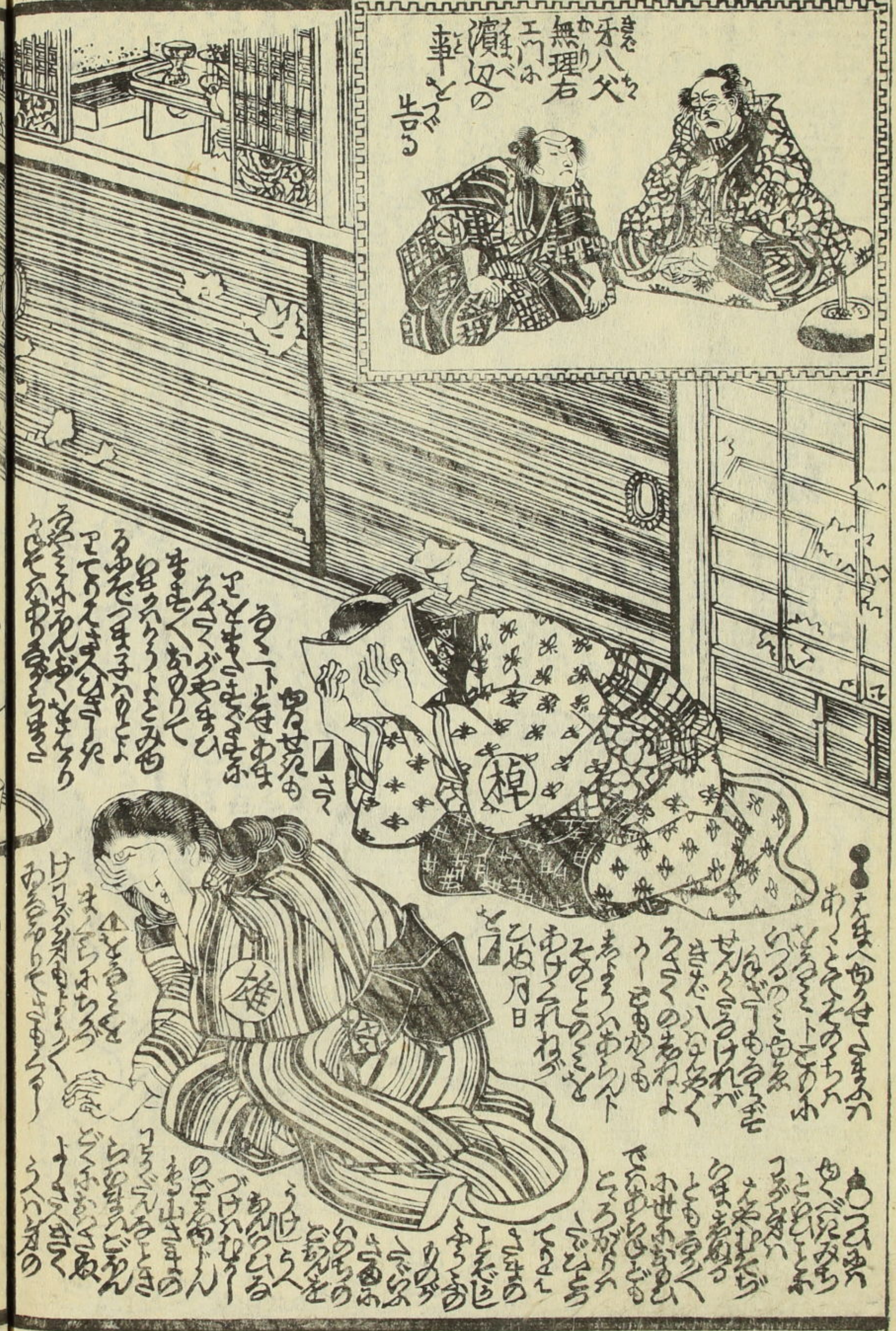


十三年の五月

二



Calligraphic text at the top of the left page, including the name 'Kuroki Dan' and other characters.



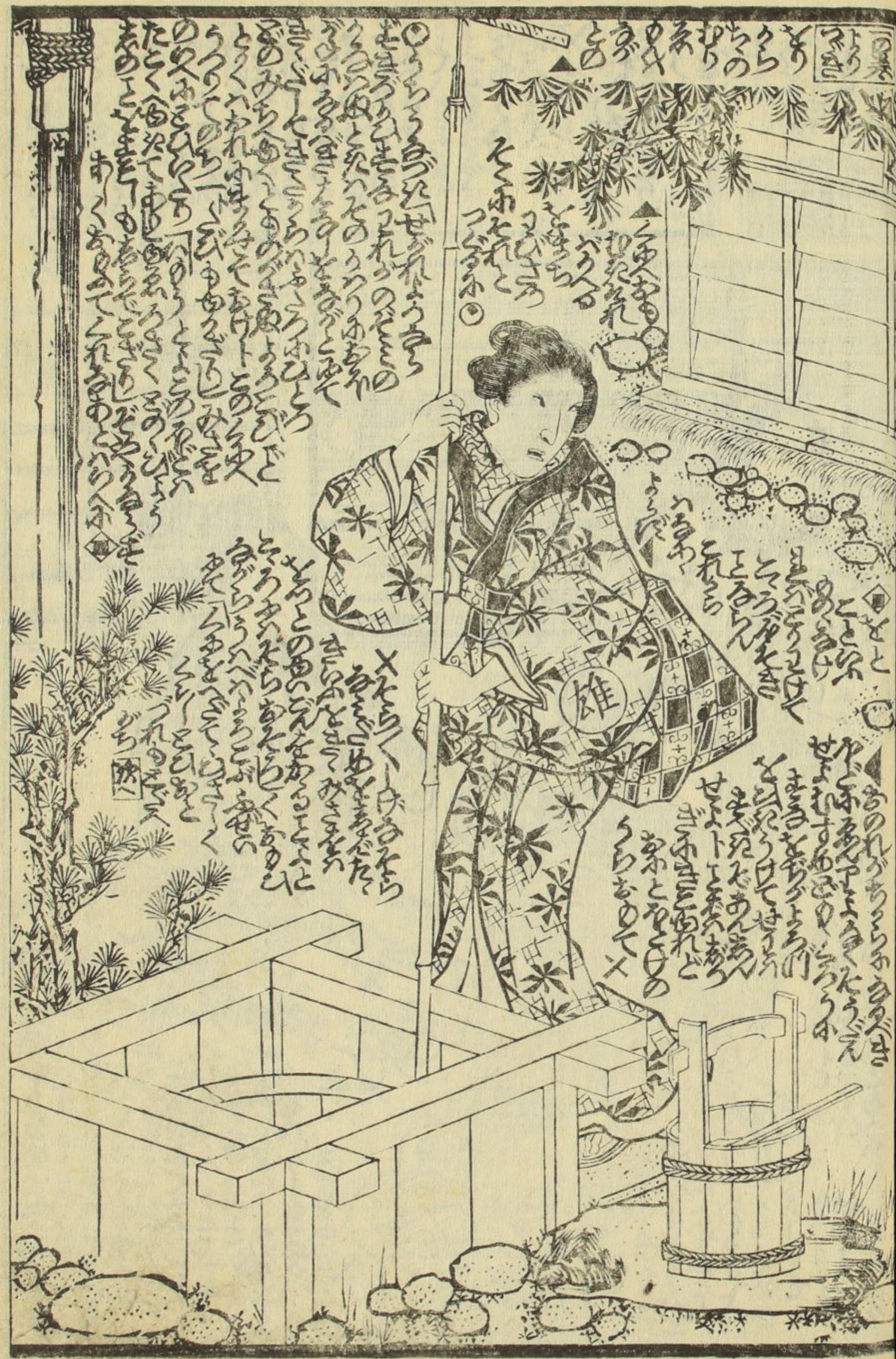
Calligraphic text in the framed picture at the top right, including the characters '無理右' and '八父'.

Vertical text on the right edge of the page, likely a chapter or section title.

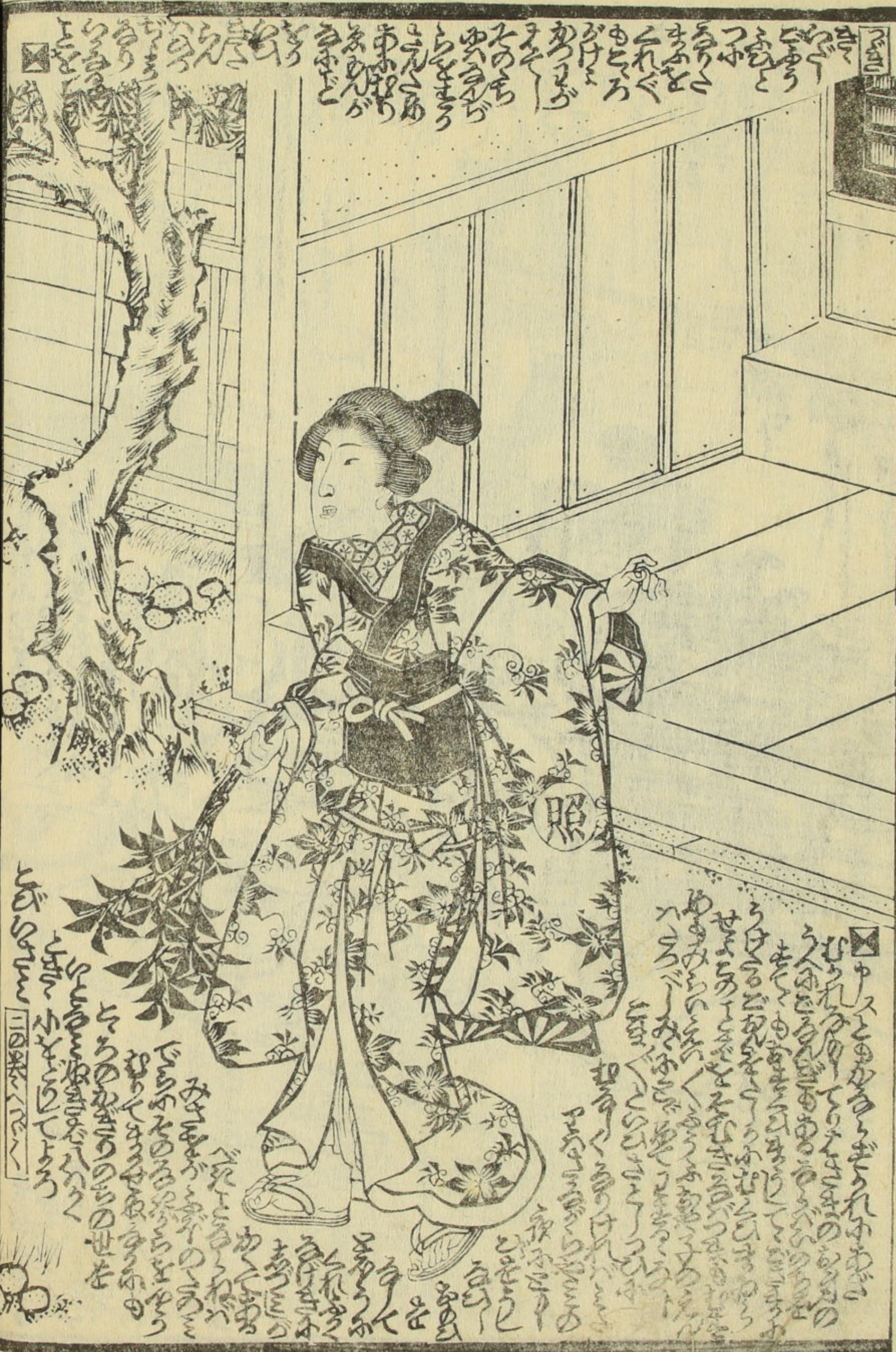
Vertical text on the left edge of the page.

Small vertical text at the bottom left of the page.

Small vertical text at the bottom right of the page.



あつちのうら



あつちのうら

五

Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration of the man.

Vertical text on the left margin of the left page.

Vertical text at the bottom left of the left page.

Handwritten text at the top of the left page, above the illustration.



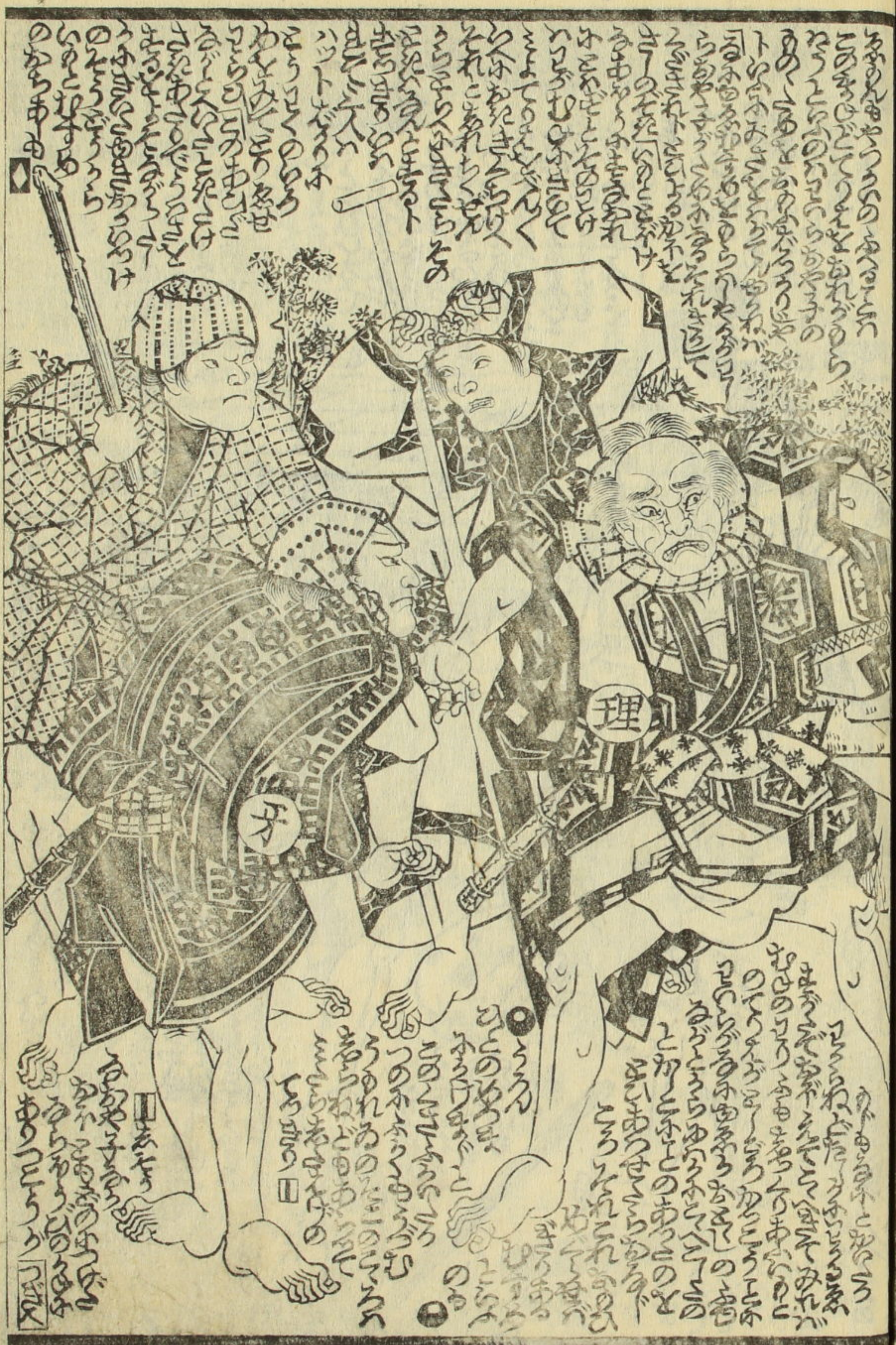
Handwritten text in vertical columns, likely a play script or commentary, surrounding the illustration of the women.

Handwritten text at the top of the right page, above the illustration.



Vertical text on the right margin of the right page.

Vertical text at the bottom right of the right page.



天
地
理

雄
棹



安政四年丁巳歲新鐫目錄

兒雷也豪傑譚

此編 柳下具種員作
此編 竜齋國盛画

甘泉堂梓

假名一休草紙

此編 同
此編 同
此編 同

全梓

童謡妙々車

此編 同
此編 同
此編 同

紅英堂板

縁結浮世雛形

此編 同
此編 同
此編 同

錦魁堂梓

浅緑短刀
深緑茶入
笹野権二椽花鏡

此編 同
此編 同
此編 同

錦森堂板

玉壺生肌膏
新吉原
賣弘柳下亭

此編 同
此編 同
此編 同

奇功紙 價廿四孔 上同

繪草紙東錦画開板所

浅草今戸町

柳下

亭



種員作國貞画



種
負
心
園
負
心

河

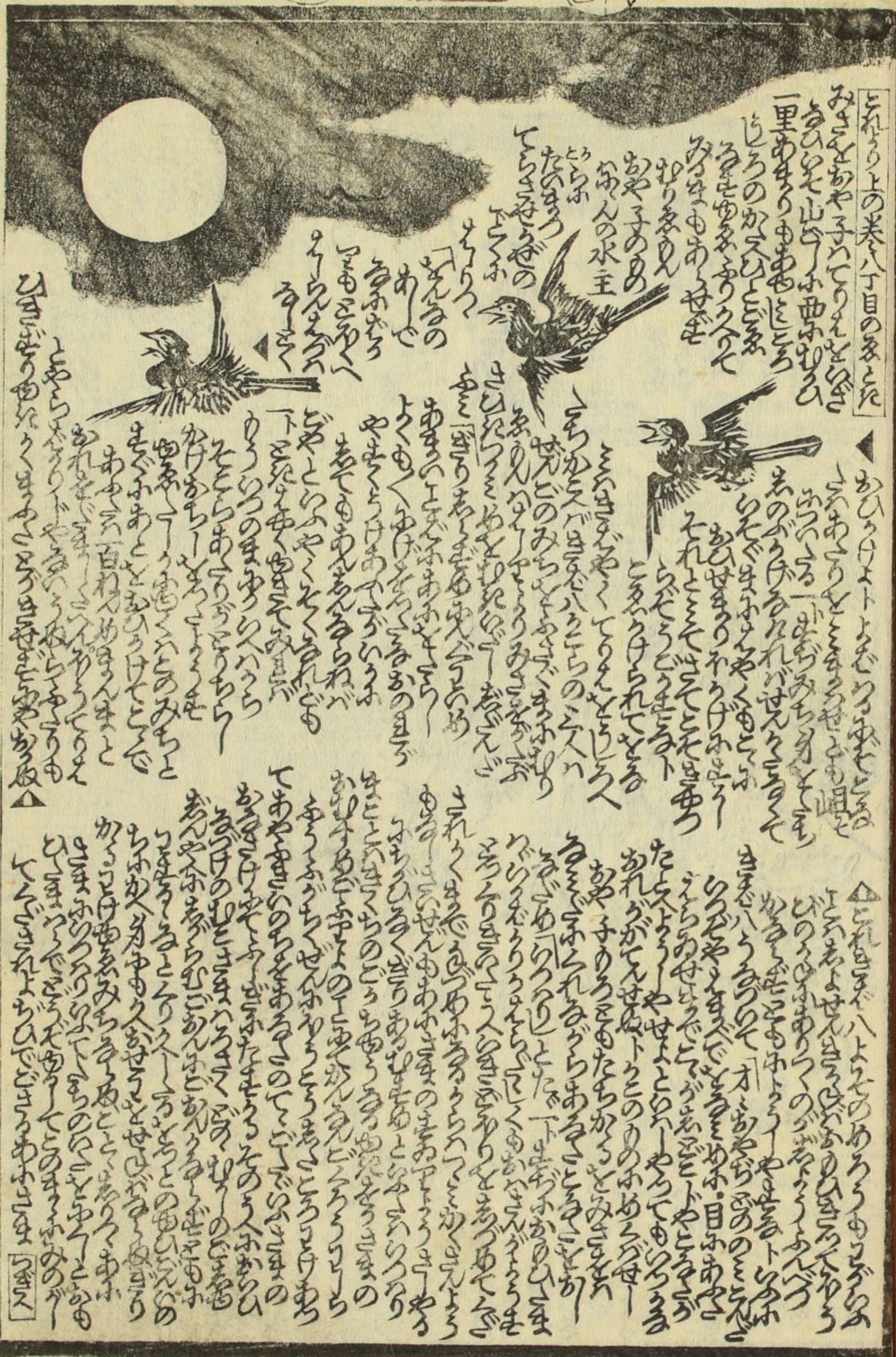
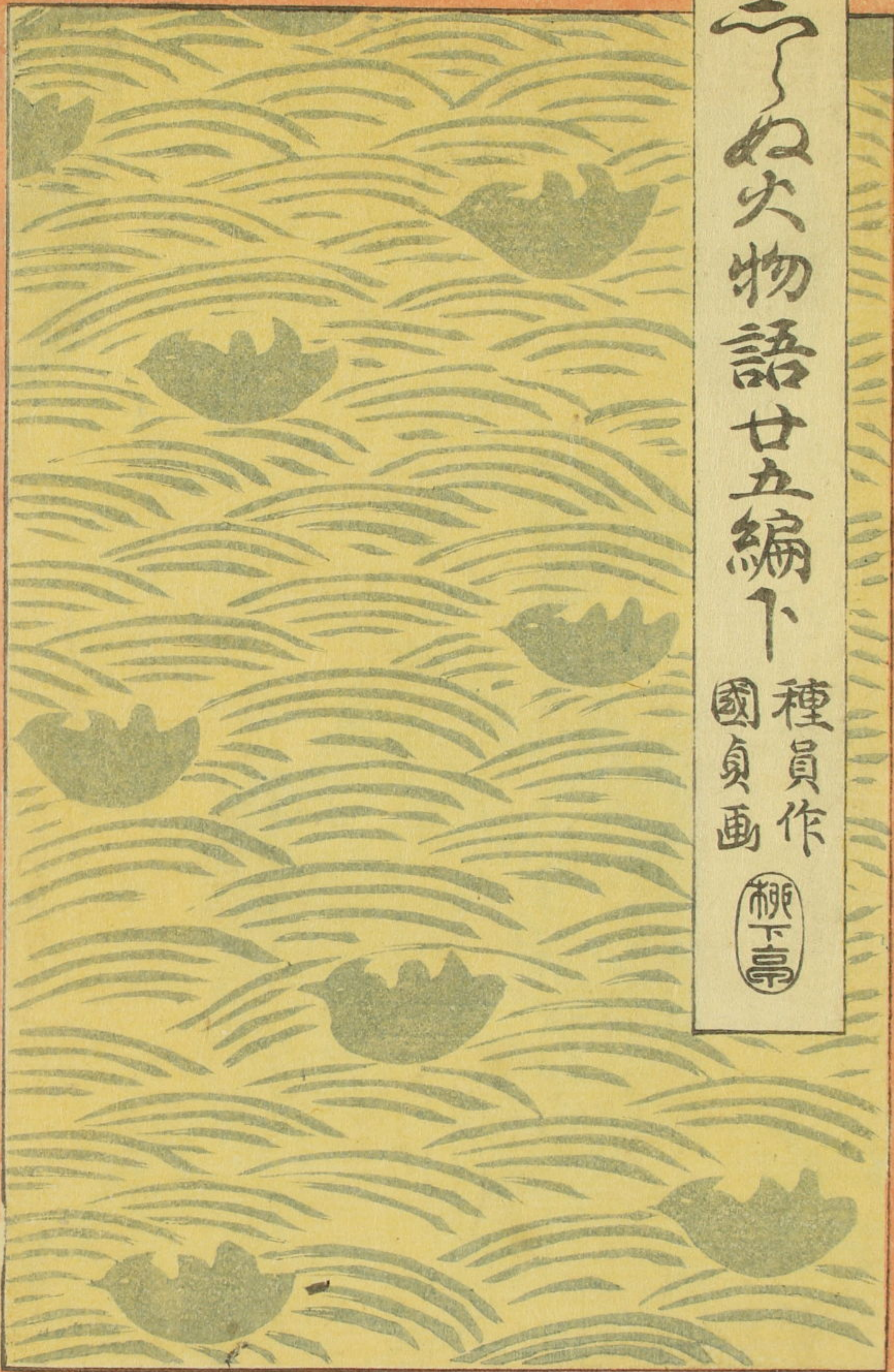
廿五編下



志々火物語廿五編下

種員作 國貞画

柳下亭

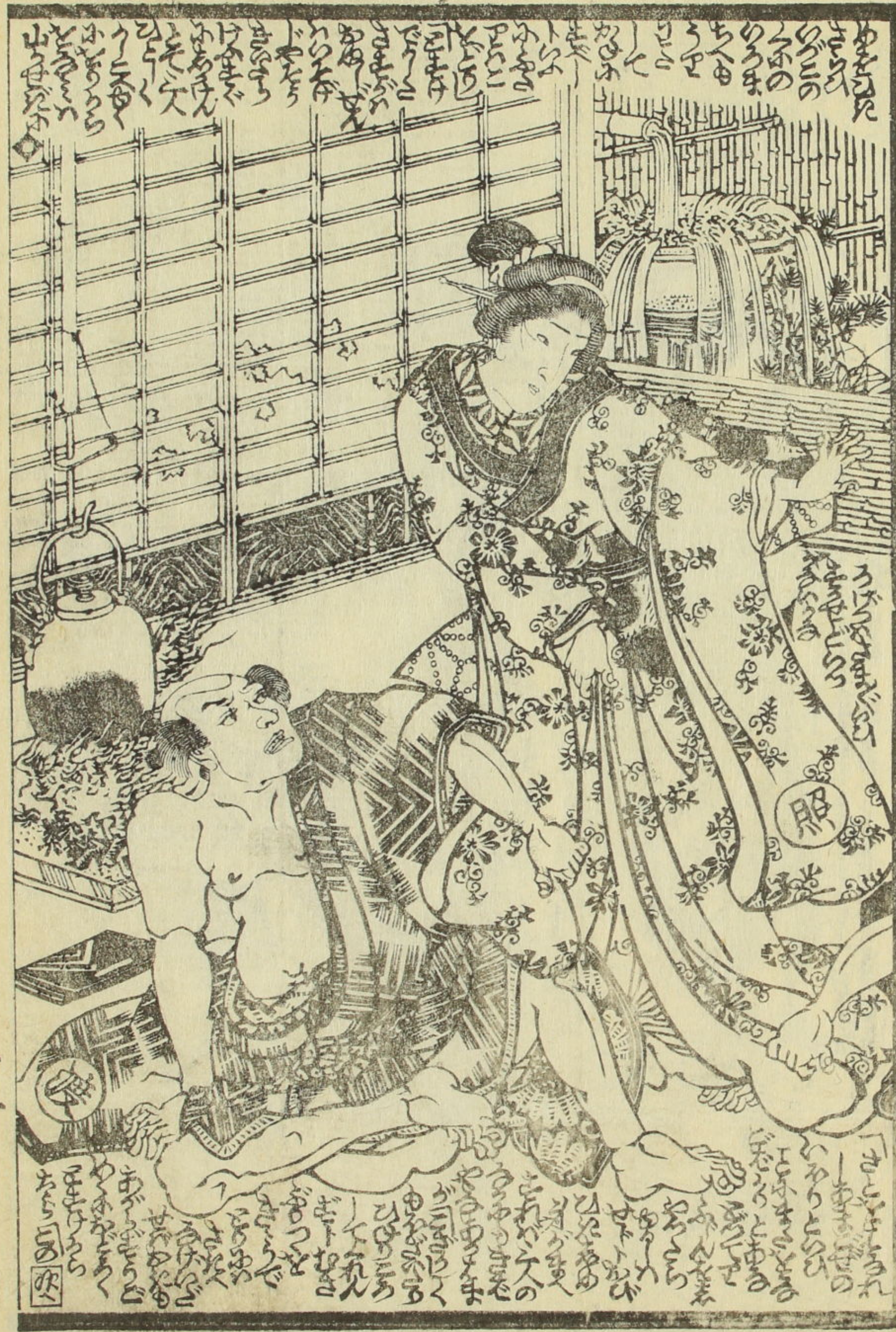


Multiple columns of handwritten Japanese text in kuzushiji script, interspersed with the illustration. The text includes various characters and symbols, some of which are circled or boxed.

十二 三 時

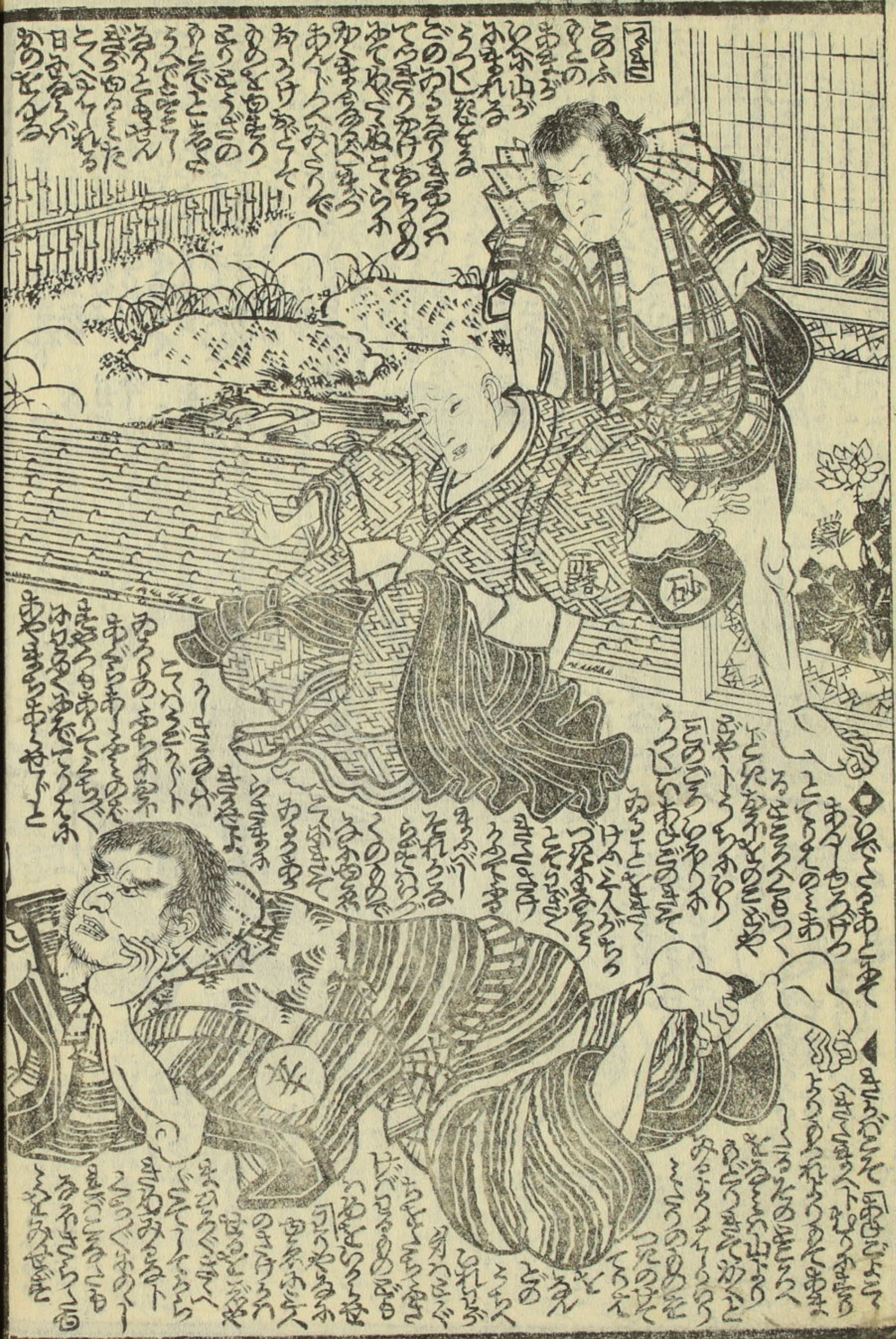
志々火物語廿五編下

十一



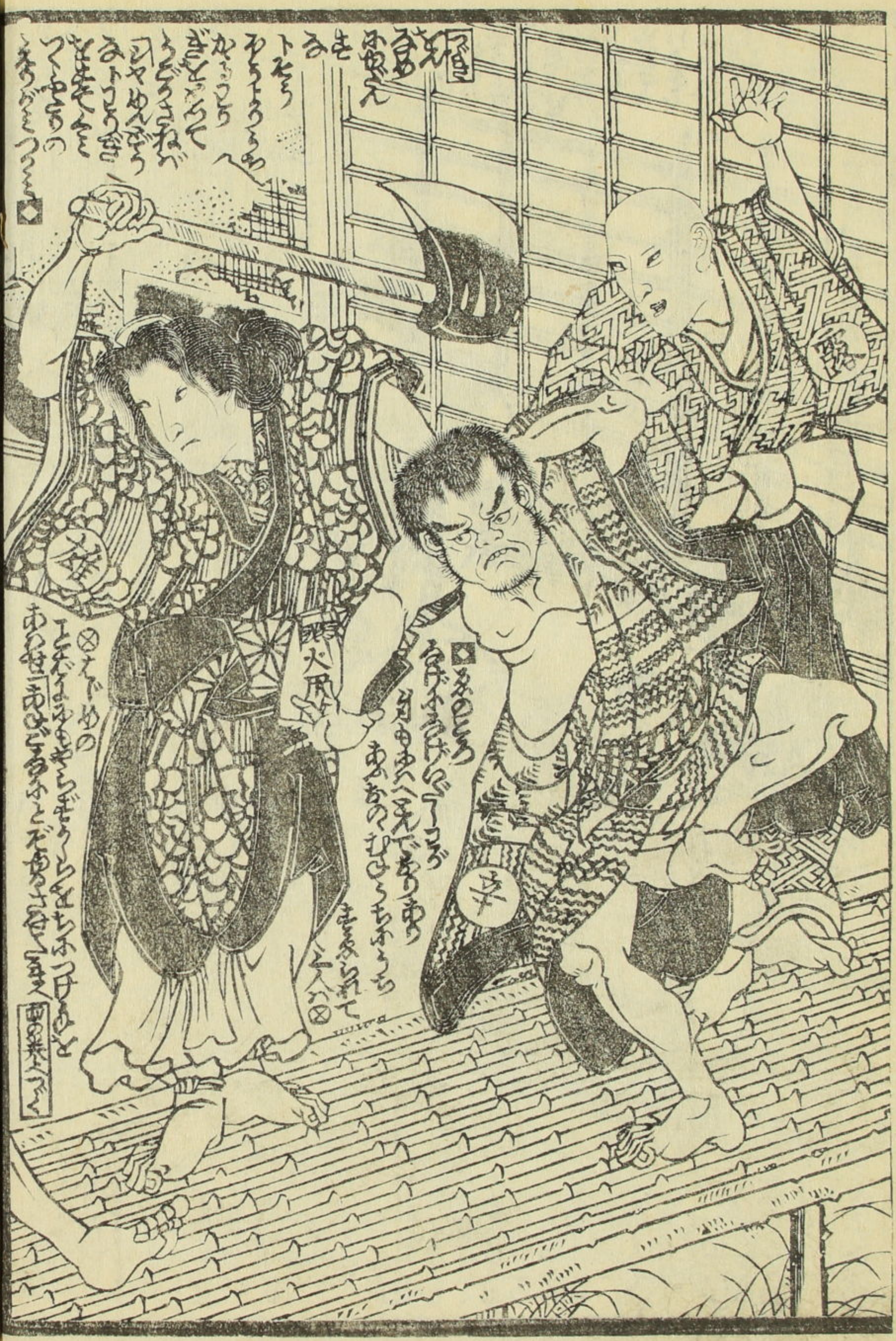
山崎屋

山崎屋



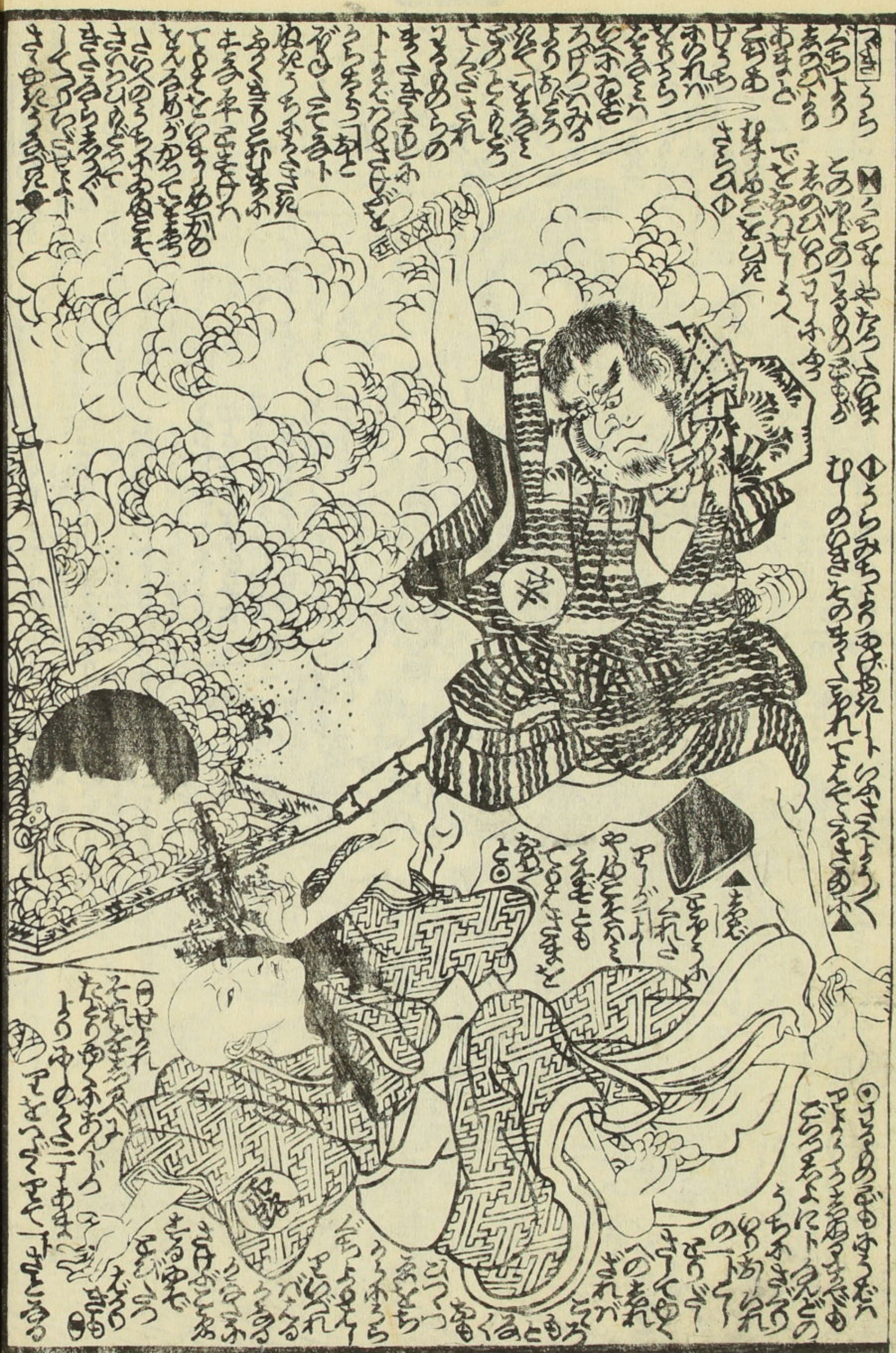
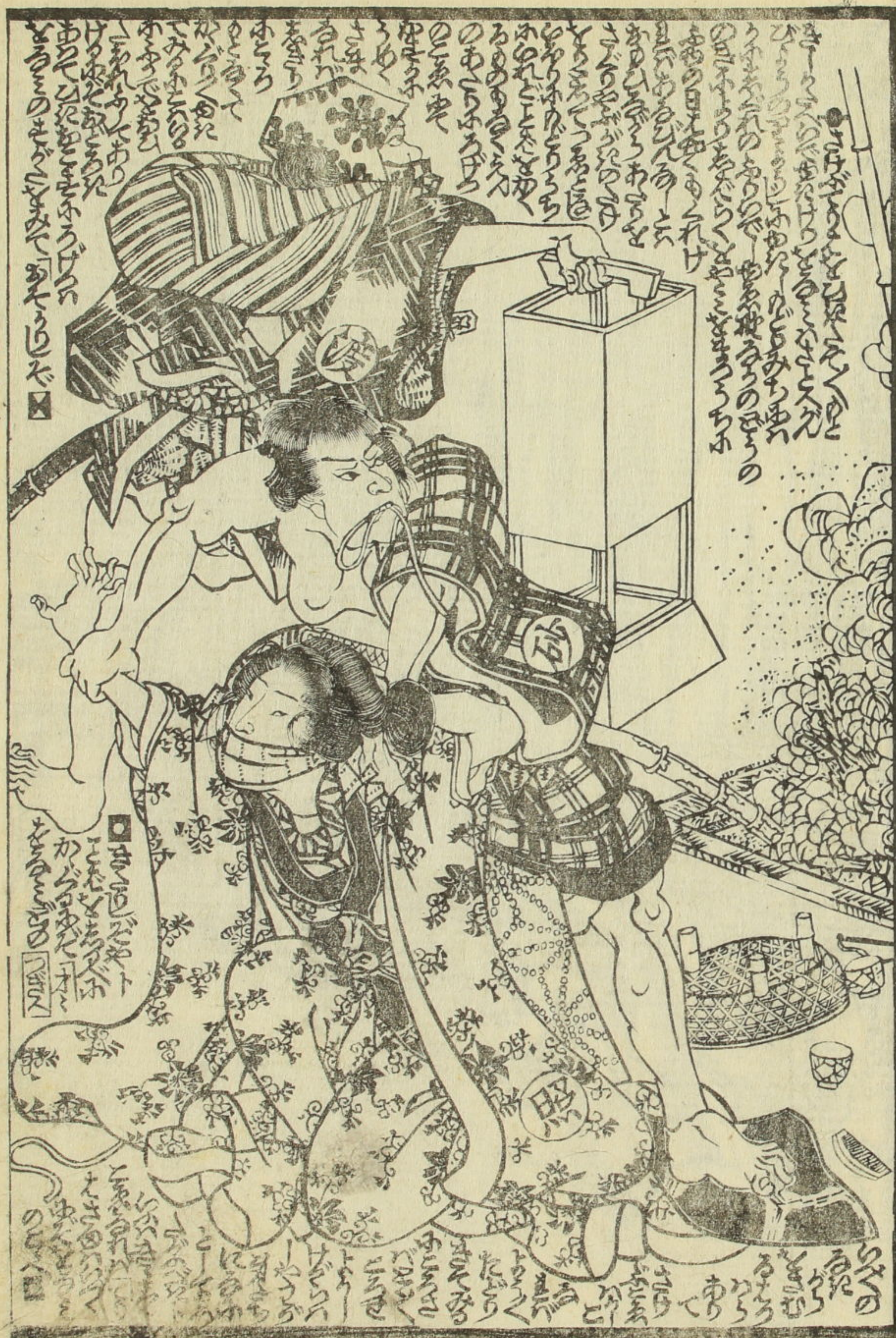
山崎屋

山崎屋

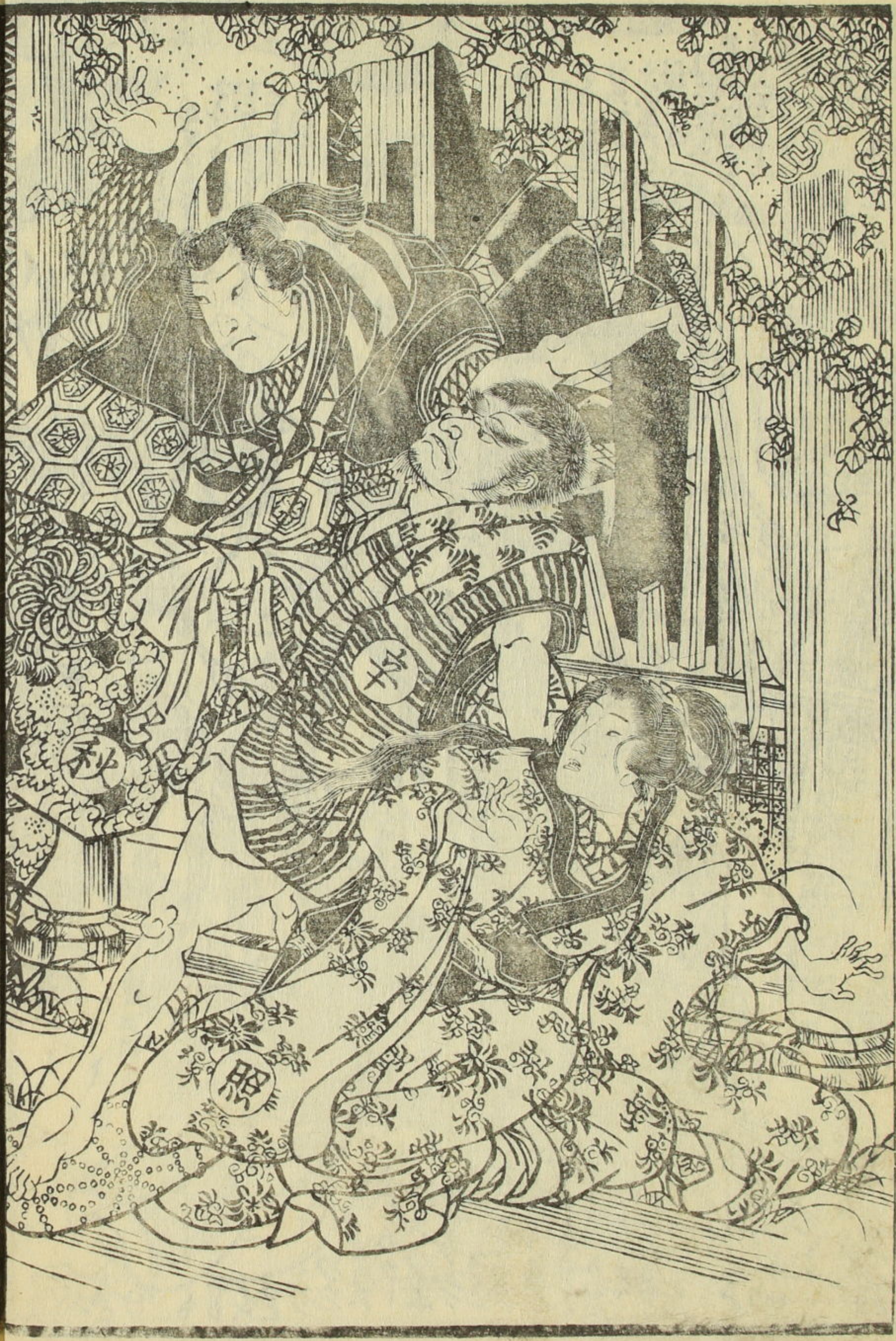


四十一

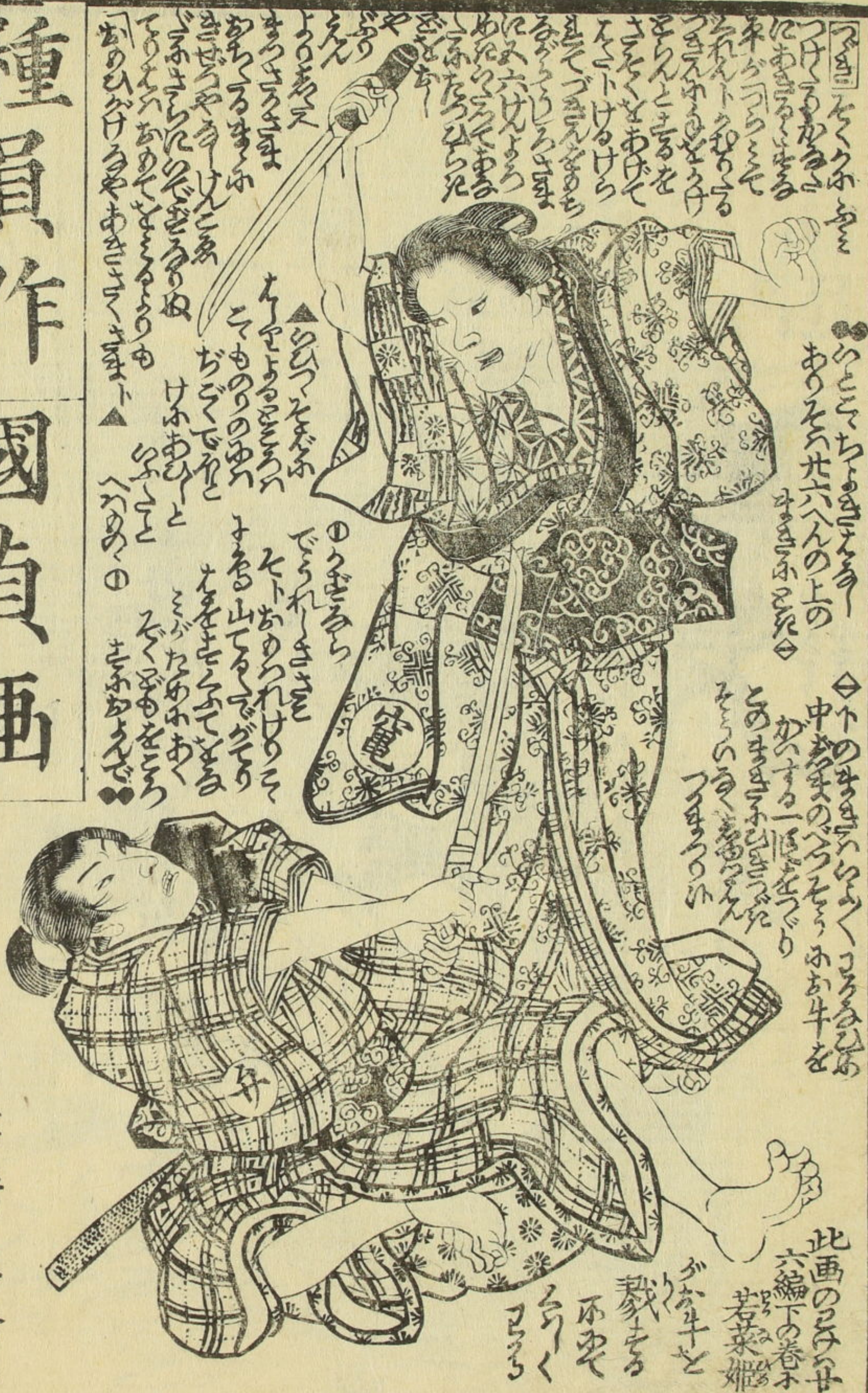
四十二







種員作國貞画



筆耕 谷金川

七草四郎 不知火物語

自廿二編至二十
八編已歳初春
返り出板仕俵

三笠山保連の母と妹の仇討の八箇月を
一場の趣向の山田同月小巻よあゝお娘のまじり
月く電光ハ必死と生の松原の所々ふ落るる雷鼓
作 柳下亭種員
曲工 森樂樓國貞

於梅氣之助 万年草新渡鉢殖 後編 柳下亭種員作
錦木新七 歌川 國貞画

右巻紙くまの先玉 うち拍子巻 二の巻末五知本初編 二編二巻末
よき切よお取の面書きとむの世作拍前巻とも同巻より
の巻末を希形 安政六巻末初春出版 板元 柳下亭 敬白





柳下亭梓